

[2020]九州大学情報統括本部年報 : 2020年度

<https://hdl.handle.net/2324/4741344>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2020, pp.1-, 2021-12-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



第 12 章 図書館連携事業室

12.1 図書館システム支援に関する事項

(1) システム更新及び安定運用に向けた調整

図書館業務システムにおいて下記の障害対応を行った。

- ・ catalog サーバ (2020 年 7 月、2021 年 1 月)
- ・ 業務用アプリケーションサーバ (2021 年 2 月)
- ・ 理系図書館自動書庫システムバックアップストレージ (2020 年 7 月)

国立情報学研究所が提供する新しい目録所在情報システム (CAT2020) の運用開始に伴う、図書館業務システムの改修作業を支援した。(2020 年 8 月)

図書館業務システムファイルストレージ拡張のためのストレージ入替作業を実施した。
(2021 年 1 月)

認証基盤事業室と連携して、図書館システムで証明書を使用するサーバ類のサーバ証明書更新を実施した。(2021 年 3 月)

(2) 可用性及びセキュリティ確保のための調整

九大 CSIRT 等と連携し、図書館システム WWW サーバで運用するソフトウェア等で確認された脆弱性に対応した。(2020 年 6 月、7 月、10 月、2021 年 1 月)

12.2 電子コンテンツサービス支援に関する事項

(1) Shibboleth 認証サービスの安定運用

Shibboleth (学認) による電子コンテンツへのリモートアクセスについて、附属図書館及び認証基盤事業室と連携して対応した。主な事項は以下の通りである。

- ・ 利用者からの要望や障害報告への対応
- ・ 図書館 SP の脆弱性対応やソフトウェアアップデート
- ・ アクセス制限設定の見直し
- ・ WAYFlessURL の設定
- ・ 新規 SP の接続設定 : 11 件

(2) リモートアクセスサービスの提供

リモートアクセス可能な電子コンテンツについて 116 件の追加及び変更作業を行った。2020 年度、EZproxy によるリモートアクセス件数は参考資料 1 の図 1 のとおりとなった。

(参考資料 1、図 1)

(3) 不正利用への対応

電子ジャーナルの不正利用等による出版社からのアクセス停止措置が 4 件発生した。これらについて、支線 LAN 管理者を通じて調査した利用状況を出版社へ報告し、アクセス制限の解除を行っ

た。

12.3 機関リポジトリ支援に関する事項

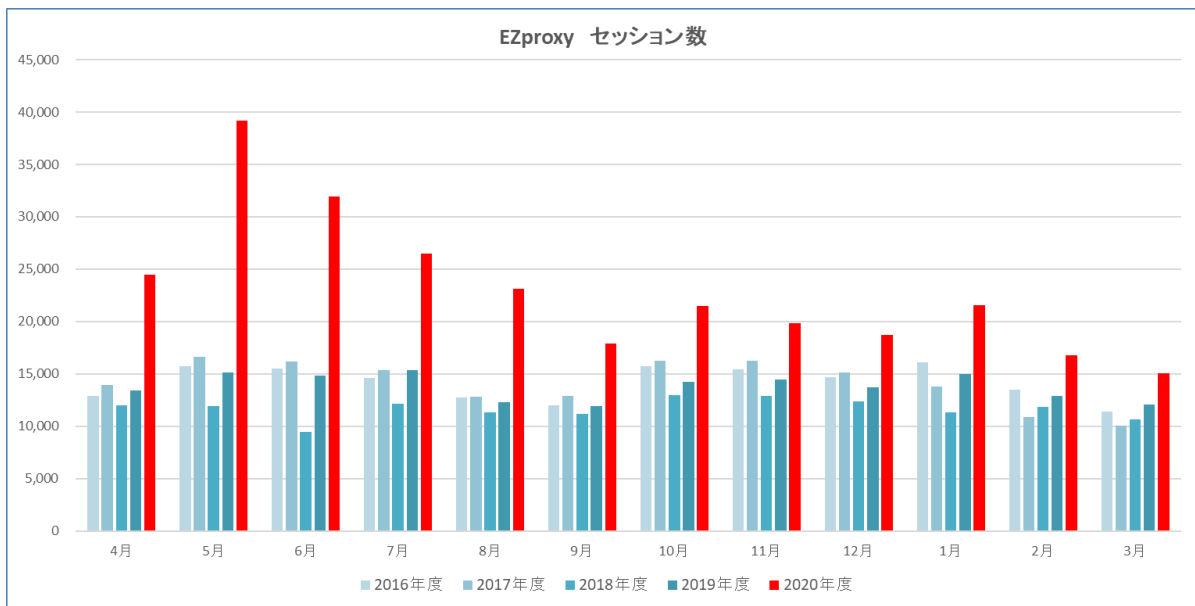
- (1) 九州大学オープンアクセス方針の円滑な運用のため、インスティテューショナル・リサーチ室と調整し、九州大学教員活動進捗・報告システム (Q-RADeRS) との連携機能を定常運用することで、九州大学学術情報リポジトリ (QIR) のコンテンツ登録作業の省力化を図った。
Q-RADeRS 連携による QIR 登録件数：231 件 (2020 年度)
- (2) 研究データ管理基盤検討タスクフォースと連携し、QIR における研究データ登録・公開のシステム要件や研究者の国際的な個人識別子 ORCID の実装に関する情報収集、情報提供を行った。

12.4 図書館での教育支援に関する事項

- (1) 附属図書館において、情報統括本部提供サービスに関する相談を実施した。2020 年度は COVID19 の影響を受け、2020 年 11 月までメールでの相談対応を実施、2020 年 12 月より中央および理系図書館内の学習相談デスクで学習相談を再開した。情報統括本部提供サービス関連の問合せは 3 件であった。
- (2) 図書館で BYOD 補完のため配備している利用者用 ChromeOS 端末については、COVID19 感染防止のため、図書館における利用制限に基づいた配置見直しの支援及び一時取り外しの作業を実施した。
(2020 年 4 月)

各種統計（2020年度）

図1： 2020年度 EZproxy 利用統計
セッション数



ユニークユーザ数

